

# REACH規則

## 【RoHS指令対象含有禁止物質・閾値】

規制物質	閾値	備考
①鉛 (Pb)	0.1wt% (1,000ppm) 以下	
②水銀 (Hg)	0.1wt% (1,000ppm) 以下	
③カドミウム (Cd)	0.01wt% (100ppm) 以下	
④六価クロム (Cr <sup>6+</sup> )	0.1wt% (1,000ppm) 以下	
⑤PBB (ポリプロモビフェニル)	0.1wt% (1,000ppm) 以下	
⑥PBDE (ポリプロモジフェニルエーテル)	0.1wt% (1,000ppm) 以下	
⑦DEHP (フタル酸ジ-2-エチルヘキシル)	0.1wt% (1,000ppm) 以下	新規追加物質
⑧BBP (フタル酸ブチルベンジル)	0.1wt% (1,000ppm) 以下	新規追加物質
⑨DBP (フタル酸ジ-n-ブチル)	0.1wt% (1,000ppm) 以下	新規追加物質
⑩DIBP (フタル酸ジイソブチル)	0.1wt% (1,000ppm) 以下	新規追加物質

但し、CEマーキングのフタル酸4種の適用時期は、カテゴリによって異なり、カテゴリ8(医療機器)、カテゴリ9(監視および制御機器)が2021年7月22日、それ以外は2019年7月22日です。

## 【Substances the use of which is forbidden by the RoHS directive and threshold values】

Restricted substance	Threshold	Remarks
①Lead (Pb)	0.1wt% (1,000ppm) or less	
②Mercury (Hg)	0.1wt% (1,000ppm) or less	
③Cadmium (Cd)	0.01wt% (100ppm) or less	
④Hexavalent chromium (Cr <sup>6+</sup> )	0.1wt% (1,000ppm) or less	
⑤PBB (Polybrominated biphenyls)	0.1wt% (1,000ppm) or less	
⑥PBDE (Polybrominated diphenyl ethers)	0.1wt% (1,000ppm) or less	
⑦DEHP (Bis(2-ethylhexyl)phthalate)	0.1wt% (1,000ppm) or less	Add new material
⑧BBP (Butyl benzyl phthalate)	0.1wt% (1,000ppm) or less	Add new material
⑨DBP (Dibutyl phthalate)	0.1wt% (1,000ppm) or less	Add new material
⑩DIBP (Diisobutyl phthalate)	0.1wt% (1,000ppm) or less	Add new material

However, the application of four the phthalic acid of CE marking, it depends on the category, category 8 (medical equipment) and category 9 (monitoring and control equipment) are July 22, 2021, otherwise July 22, 2019

## 3. WEEE指令

### WEEE instruction

(Weste Electronic and Electronic Equipmentの略)

廃電子・電気機器を予防(削減)するため最終処分量を減らすことを目標に再使用・再生・リサイクルを推進する要求

To reduce the volume of waste in the form of electronic and electric appliances, there is a need to promote re-use and recycling with the aim of reducing the final disposal volume.

## 4. 弊社製品のRoHS指令への適合について

### Regarding the application of the RoHS directive to our products.

弊社製電線・ケーブルは、RoHS指令(2002/95/EC)に適合し、含有禁止物質の一つに挙げられている鉛フリー(Lead Free)の意を表す“LF”を表示しております。

※一部製品については“LFV”を付与。

改正RoHS指令(2011/65/EU)の除外規定、適合保証書、技術文書管理等は、2013年1月3日生産品より対応しております。

Our electric wires and cables adapt to RoHS directive (2002/95/EC).

We display "LF" meaning lead-free in one of the component prohibition materials.

※"LFV" is printed on some products.

Exemptions, declaration of RoHS, the technical document management of revised RoHS directive (2011/65/EU) support than products on January 3, 2013.

REACH規則とは、2007年6月に施行されたEU(欧州連合)の化学物質管理における法規制です。Registration, Evaluation, Authorization and Restriction of Chemicalsの略で、EU域内で製造・使用される化学物質について登録(Registration)、評価(Evaluation)、認可(Authorisation)、および制限(Restriction)を課すという内容です。

REACH規制の基本的な仕組みは以下の通りです。

- (1) 登録の義務(第6条)  
EU域内である化学物質を1t以上年間で製造・輸入する事業者はその化学物質を「登録」しなければなりません。
- (2) 既存物質の段階的規則(第23条)  
既存物質とはEU域内で流通している化学物質で、登録するときに猶予期間があります。
- (3) 有害性情報の共有(第11、28、29、30条)  
複数の事業者が同じ既存物質についてデータを共有し、有害性情報などを共同で提出することが義務付けられています。
- (4) 成形品中の物質(第7条)、含有情報の開示(第33条)、高懸念物質(第59条)  
REACH規則では規制の対象区分として、物質(Substance)、調剤(Preparation, Mixture)、成形品(Article)の3つを設けています。成形品の場合は高懸念物質(SVHC)の含有量が0.1%を超える場合で年間取扱量が1t以上の場合は、欧州化学品庁(ECHA)に届出が必要になります。また、成形品の場合は顧客や消費者から要求があった場合には、45日以内で含有情報を提供しなければなりません。
- (5) 認可(第56条)  
SVHCリストに掲載された化学物質の中から欧州化学品庁は認可対象物質を選定します。認可対象物質になった化学物質は、用途などを特定した上で使用する許可を得ないとEU地域内では、使用することができなくなります。

※ 電線・ケーブルにおいては、上記(4)が最も関係する事項となっています。

## 高懸念物質(SVHC : substances of very high concern)

SVHC認可対象物質登録までのおおまかな流れは以下の通り。

「SVHCの候補(パブリックコメント)」→「Candidate List(認可候補物質リスト)」→「認可対象物質」→「附属書XIVに記載」

2015年6月15日に発表された第13次SVHC Candidate List(認可候補物質リスト)で対象化学物質は163物質となり(4)の情報提供の義務が生じます。

## 認可対象物質: 附属書XIVリスト (Annex XIV List of Substances Subject)

認可対象物質は、用途などを特定した上で使用する許可を得ないと使用することができません。

2014年12月17日に発表された期限日(Sunset date)の確定した認可物質は31物質となっております。

※電線・ケーブルにおいて関連の深いフタル酸エステル4物質(DEHP, DBP, BBP, DIBP)が有り、2015/2/21(Sunset date)に正式な認可対象物質となり、認可された用途製品以外は、再度、(5)の認可申請の上、許可を得ないと使用することができなくなっています。

## 欧州化学品庁(ECHA : European Chemicals Agency)

REACH規制の下で、化学物質の登録、評価、認可、制限の手続きの運用・調整を行い、加盟国とEU機関にREACH規制で対象となる化学物質についての科学的・技術的アドバイスを与える役割を担っています。